



はなさとだより

第240号
2026/5/1

それぞれの道へ、同じ春空の下で

たくさんさんの職員が老健はなさとを去り、新たな道へとすすみます。長い間お世話になりました。ありがとうございます。4月から新しい仲間を加え、より一層みなさまのために、楽しく安全で過ごしやすい施設を目指してまいります。これからもどうぞよろしくお願い致します。

施設長 重盛紀子



三月末日を持ちまして定年退職させて頂く運びとなりました。2年という短い間ではありましたが、出会ったすべの方々から多くの教えてを頂いたことに心より感謝申し上げます。これからも利用者様に寄り添う温かい施設として、ますます発展していくことをお祈り申し上げます。ありがとうございます。

医師 廣瀬良和



はなさとに務めて十一年。表向きは院長構想から外れたようだ。後半は歩行器を使用してのラウンドでご迷惑をおかけしました。次は入所者としてお世話になります。

看護師 山下加奈



最高に幸せな9年間でした！



作業療法士 澤裕佳

利用者さんと一緒に運動したり、お話をする時間は、とても楽しいかけがえのない時間でした。3年間、たくさんさんの元気と学びをいただきありがとうございます。今後も皆様が元気に過ごされることを心より願っております。

看護師 松井千恵美



はなさとでは十年お世話になりました。私は難病で体調が不安定の為、スタッフの皆様には様々な場面で助けて頂き感謝しています。今まで知り得た経験を糧に新しい環境でも頑張りたいと思います。皆様に気を付けてお過ごしください。本当にありがとうございました。

居宅看護師 青木恵美

居宅のケアマネジャーとして十年間お世話になりました。入社と同時に小学校入学した我が子も高校生に。あつという間で充実した日々でした。関わって下さったすべての皆様に感謝しています。ありがとうございます。

看護福祉士 林博仁



はなさとではコミュニケーション等たくさん学ばせてもらいました。四月からは病院の方で勤務させて頂いたことになり、はなさとで学んだことを活かして頑張りたいと思います。ありがとうございます。



春、農園に芽吹く新しい命

寒い冬が終わり、ようやく春がやってきました。寒い時間を越えたからこそ、この温もりがうれしい毎日です。春は期待を胸に、人を前へ進ませてくれるのではないのでしょうか。はなさと農園にも春の訪れがやってきました。止まっていた時間が、ゆっくりと動き出す感覚です。閉じていた心が、前を向きたくなる瞬間です。心気が、前を向きたくなる瞬間です。みましょう。



発行担当 1階事務所